

## 青森県立梵珠少年自然の家で木造建築科校外研修を行いました

木造建築科では訓練生の社会性やたくましい心を育み、宿泊体験での集団行動をとおして自立性や協調性を養うことを目的として、青森県立梵珠少年自然の家で2泊3日の校外研修を行いました。また、この研修では木造建築科における教育訓練の一環として、現在の在来軸組工法の主流となっているプレカット工場や木造建築物を見学し、建築業界に対して理解を深めるために施設見学も併せて実施しました。



1日目は鶴田町にある日本一の長さを誇る三連太鼓橋(鶴の舞橋)を見学しました。鶴の舞橋は、岩木山の雄大な山影を湖面に美しく映す津軽富士見湖に架けられた全長300mの木造の橋であり、建設に当たっては山口県にある「錦帯橋」などのアーチを参考にして造られていました。また、鶴の舞橋は、土台から橋や東屋の骨組みまで全て木造となっており、日本古来の建築技術を駆使しながら県産の「ひば」を用いて作られた木造建築物でした。



2日目は宿泊先である青森県立梵珠少年自然の家で、仲間意識を高めることを目的にグループで協力しながら敷地内のチェックポイントを巡り、タブレット端末でQRコードを読み取り、指令に従って写真をとったり「宝物ヒントワード」をメモしたりするQRゲームを行いました。午後は、五所川原市金山地区で採れる良質の粘土を使った地域の陶芸「津軽金山焼」を体験し、土のぬくもりを感じながらモノづくりの楽しさを味わうことができました。



最終日の3日目は、木造住宅の建築において主流となっているプレカット工場の見学をしました。株式会社ウッドハートでは、プレカットCAD技術者の加藤慎司課長代理が工場内を案内してくださり、柱加工や横架材加工などの工程について説明をしていただきました。見学後、訓練生から「思ったよりも機械化されていることに驚いた!」「プレカット工場でも建築の知識が活かせるので、進路選択の幅が広がった」という感想がありました。



今回の研修では、訓練生から「普段の学校生活では体験出来ないことをいろいろ学べてとても勉強になった」「一般に見ることができないので、教科書以上のことを学ぶことができた」などの感想がありました。3日間の校外研修でしたが、自然・文化・建築構造物などに触れることで、一人ひとりの視野と可能性が広がったことと思います。今後は、研修で学んだことや感じたことをこれからの学校生活に活かして欲しいと思います。